

細木病院

# 平成28年度 重点目標を設定



院長 堀見忠司

今年は2年に1回の診療報酬改定の年であり、各県における病床数の削減計画が具現化する年です。高知県内の少子高齢化社会に拍車が進む中で、細木病院の平成28年度重点目標について述べさせていただきます。

## ① 病院建物の増改築も含めた 細木病院将来構想の策定

細木病院の本館の本棟は昭和41年に、同北棟は昭和48年に、南館は昭和53年に建築されています。また、管理棟は平成6年に、新館は平成8年に建設されています。その後、幾度となく改装や耐震化工事を実施しています。が、老朽化・狭隘化が進んできています。職員はこの古くなった病院建物の増改築はいつごろなるのだろうと感じています。今年重点目標の第1は、細木病院の将来構想の策定です。すなわちこれからの細木病院は、高知県内での医療貢献する立ち位置を確定し、それに伴う将来構想を策定しなければなりません。これはまさに細木病院の実現可能な大きな夢です。日頃の数々の委員会や報告会の皆さんの意見も参考にして、策定していく予定です。

## ② 年間病床稼働率82%の確保

昨年度は、年間病床稼働率84%の確保を掲げていましたが、月単位で変動があり、残念ながら79.1%でした。病院の健全経営と職員の労働環境を考慮して今年度は82%を目標にしましたが、これは十分に可能な数字であり、必須の命題といえます。

## ③ 細木病院が誇る医療の院内・院外 への積極的・効果的な広報の実施

細木病院の売りは、いくつかありますが、特に糖尿病の認定専門医が2名、内分泌代謝科専門医が2名いることです。さらに最近では、日本病院総合診療医学会認定医が誕生しました。また、3D画像対応型マンモグラフィや骨密度測定装置、320列CT、1.5テスラMRI、NBI併用拡大内視鏡システム等の最新鋭の医療機器も導入しています。このような細木病院が誇る診療の広報を、さらに積極的にそして効果的に実施することは、多くの患者さんの福音になります。

## ④ 地域連携のさらなる積極的な 強化・推進

多くの患者さんが病院探しや病床探しに苦労されています。これを解消するために、医療機関同士が地域連携を

さらに推進することが重要です。また、介護施設やケアマネジャー等との連携も欠かせません。そうした、一層の連携強化、推進によって、経営的な共存共栄のうえに立って、患者さんの心配や不安をなくしていきたいと考えています。

## ⑤ 日本医師事務作業補助研究会 高知支部の立ち上げ

今日、医師や看護師の書類作成や電子カルテの操作などの煩雑さは、本来の診療に専念できない環境を発生させています。これを解消すべく、全国的に日本医師事務作業補助研究会が発足していますが、本県では、まだ成立していません。医師不足や患者さんへの診療に専念できるような環境作りにも励むとともに、早急に高知支部を立ち上げ、有用性を示す予定です。

## ⑥ ロッカールーム等の増築

細木病院の職員数は、現在約60名非常勤職員を含むと増加し、また、多くの実習生の受け入れを行っていることから、ロッカー数が不足しています。特に女子職員には不便をお掛けしています。ロッカーの散在している点なども改善しなければなりません。本年度はまずロッカールームの拡充のために仮設的な建設を考えています。

# 細木病院 新採用医師紹介



## 小児科医師

なかおか ゆうこ  
**中岡 祐子**

外来担当	月	火	金	土
午前	○		○	○
午後	○ (交代)	○	○	○ 13:00~ 15:00

このたび、細木病院小児科で勤務することになりました中岡祐子です。出身は香川県坂出市で、小・中・高・大とずっと香川県で育ちました。香川大学医学部を卒業し、同大学で初期臨床研修をしました。その後、香川大学小児科に入局し、香川県の東の端

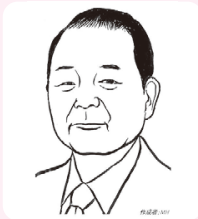
域の小児周産期医療に携わってきました。今年はいよいよ小児科専門医を取得し、新井先生と細川先生の指導のもとで、よりスキルアップしていきたいと思っています。また、自身の出産・子育ての経験を分かち、お母さんに寄り添った診療ができるよう頑張りたいと思っています。

にある三豊総合病院で後期研修をいたしました。平成25年の結婚を機に、夫の出身地である高知県に移住し、高知大学小児科に入局しました。このたびの小児科人事で細木病院でお世話になることとなりました。これまで感染症を中心に、地域の子どもたちの健康を大切に、高知の子どもたちの健康やかな成長に貢献できるよう頑張りますので、どうぞよろしく、お願いします。

子どもが3歳と1歳でまだ小さく、休日は子どもとゆったりとした時間を過ごすようにしています。週末の日課は、大好きなパン屋さんのパンを持って、家族でのいちご物公園へ行くことです。趣味はバドミントンですが、現在は仕事と育児に追われてなかなか時間がとれません。バドミントンをされている方がいらっしやいましたら、ぜひ声をかけてください。



## 時 事 ワッセー



仁生会理事長  
細木 秀美

# 100歳でも元気

**高**知県は100歳以上の人口が全国で2番目に多い長寿県だ。40代、50代の男性の死亡率は、逆に多いけれども…。

以前、新聞に、100歳の女性スイマーが世界大会で世界新記録を樹立したり、金メダルを量産していることが載っていて驚いた。彼女は80歳から水泳を始めたが、それまでは能が大好き人間だったらしい。人間いくつになっても、今からやろうという目標を持つことがいかに重要で、それが健康長寿の根本的な秘訣になっていると思う。

今、アメリカでは、Integrative Medicine (IM) という医療の新しい実践が叫ばれている。IMの特徴は、患者さんの自然治癒力を増強させること、患者さんや家族の日常的で自分自身による主体的な健康への取り組み

が大切だということだ。代替療法などを併用して、現代医学の価値判断に基づき、経済的合理性の上に立つて行う医療で、食事(栄養)、サプリメント、運動、マッサージ、ヨガ、瞑想、漢方やアーユルヴェーダなどの伝統医学など、種々の補助療法を加味して、患者さんが健康改善、保持に取り組む。これには、患者さん自身の健康になろう、健康を維持しようという不断の努力と知識の習得が基礎になる。高齢化社会に向かって、今まさに突き進んでいる我が国のお年寄りの健康保持には、西洋医学に加えて、患者さん自身の自覚に基づいた健康管理が一人ひとりの寿命を決める時代になる。

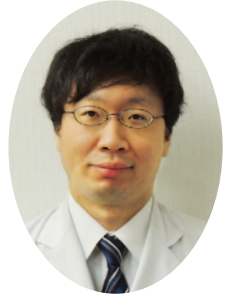
認知症にならないためにも、若い時から過食と油の多い食事を避けて、日常の運動を欠かさず肥満を防止し、生活することの大切さを、若い時から一人ひとりが自覚する必要があると思う。

高知大学医学部を卒業し、学生時代は剣道に励んでいました。大学の剣道部の先輩である原先生が細木病院で勤務されていることなどご縁もあって、2年間初期研修医として当院にお世話になりました。「医者」は学生時代、座学ばかりで実地経験がなく、頭でっかちな奴が多くて、最初は使い物にならない」と非難されることが多いですが、座学すら真面目にやっていたので、2年前、本当に何も分からぬ状態から初期研修を開始しました。そんな自分に対して、医局の先生方、このたび、4月から細木病院の内科医として勤務させていただくことになりました。

私は、長崎県出身で、高知大学医学部を卒業し、学生時代は剣道に励んでいました。大学の剣道部の先輩である原先生が細木病院で勤務されていることなどご縁もあって、2年間初期研修医として当院にお世話になりました。「医者」は学生時代、座学ばかりで実地経験がなく、頭でっかちな奴が多くて、最初は使い物にならない」と非難されることが多いですが、座学すら真面目にやっていたので、2年前、本当に何も分からぬ状態から初期研修を開始しました。そんな自分に対して、医局の先生方、このたび、4月から細木病院の内科医として勤務させていただくことになりました。

内科医師

いかり 猪狩 俊介



外来担当	月午前	水午後	木午後
総合診療科	○		
一般内科		○	○

初期研修を開始しました。そんな自分に対して、医局の先生方、このたび、4月から細木病院の内科医として勤務させていただくことになりました。

を、診療にはもちろんのことですが、後輩の初期研修医への指導にも活かしていくことで、当院に少しでも還元できればと思っています。しかし、まだまだ未熟な点が非常に多く、ご面倒をかけることの方が多いと思いますので、引き続き、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



4月1日、細木病院新館地下1階高行記念講堂において、社会医療法人仁生会細木病院グループ全体の入社式が行われました。今年度は、98名の職員が新たに仲間入りしました。



将来は、内科、総合診療科へと進んでいきたいと考えております。広い診療を行うことができるよう、まずは小児科で勤務し、諸先生方からさらにとたくさんのご指導をいただきたいと思います。経験が積んでいきます。少し変わります。



内科・小児科医師

こが 古賀 ひとし 仁



外来担当 (5月まで)	火午前	金午前
総合診療科	○	○ (交代)
一般内科		

出身は、高知県の北にある土佐町という小さな田舎の町で、平成26年に高知大学医学部を卒業しました。今年の3月まで細木病院を中心に高知赤十字病院、国立高知病院、あき総合病院などで2年間の初期臨床研修を行ってまいりました。本年より、いよいよ医師として3年目になります。初心を忘れず、なお一層の努力をし、今まで以上に日々精進していきたいと思っております。皆様、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

4月より細木病院内科に、6月より小児科で勤務する予定になっております。

将来は、内科、総合診療科へと進んでいきたいと考えております。広い診療を行うことができるよう、まずは小児科で勤務し、諸先生方からさらにとたくさんのご指導をいただきたいと思います。経験が積んでいきます。少し変わります。



3月18日、初期臨床研修修了祝賀会にて

**2年間の初期臨床研修を振り返って**

**安倍秀和**

私は、細木病院で、内科、外科、小児科、精神科を研修させていただき、それ以外の診療科は、県内の他の病院で研修しました。その中で、将来は、自分の地元である四万十市で、総合診療科に従事するというしっかりとした医師像を構築することができました。今こうして将来の方向性が決まってみると、一層仕事に熱が入ります。

この2年間、さまざまな研修病院で、色々な人と出会い、多くの経験ができたことは、自分の成長につながりました。多くの人のおかげで、初期研修を無事に修了することができたと感じています。

中でも研修医になったばかりの何も分からない私に、優しく指導をしてくださった細木病院の先

生方やスタッフの皆さんには大変感謝をしております。本当にどうもありがとうございました。

**川村静香**

根気よく指導し、温かく成長を見守ってくださった先生方。色々と気にかけてくださる看護師の皆さん。元気に声をかけてくださるヘルパーさん。いつも明るいリハビリの皆さん。笑顔であいさつしてくださる放射線室の皆さん。丁寧に教えてくださる臨床検査室の皆さん。医局をきれいに掃除してくださる皆さん。暑い中も寒い中も駐車場の整備をしてくださる皆さん。おいしい昼食を準備してくださるレストランの皆さん。うまく研修できているか気にかけてくださる事務の皆さん。ありがとうございます。

ここに書ききれないくらいたくさんの方に支えていただいた2年間でした。なにより、病院へ受診しに来られる患者

さんには、診察や検査に快く協力してくださり、たくさんのお話を学ばせていただき、本当にありがとうございました。地域の人に愛される病院で、たくさんの方に支えていただき、医師としての一步を踏み出すことができました。後期研修では、高知大学病院の精神科へ進みますが、また、皆さんに成長した姿で会うことができるよう頑張ります。

**古田島希江**

やや長いモトリアム期間を経て、細木病院で研修医として働き始めてから早くも丸2年が経ちました。最初は不安でいっぱいでしたが、優しく穏やかな先生方と、明るく親切なスタッフの皆さんに助けられ、なんとか挫折せずに研修を続けることができました。2年目の6月からは外部の病院で研修させていただきましたが、時々日直や当直で戻ってきた際には、皆さん優しく声をかけてくださり、とても安心して気持ちになったのを覚えています。また、細木病院で研修させていただいた約1年間で、各科合わせて230人ほどの入院患者さんを担当させていただきました。これは県内の他の研修医と比較しても多い方だと思います。たくさんの方に出会い、たくさんの方に支えられて本当に多くのことを学ばせていただきました。大事な2年間を細木病院の研修医として過ごすことができ、幸せでした。

この場をお借りして、お世話になった全ての方に心から感謝申し上げます。4月からは、香川県の三豊総合病院で、小児科の後期研修医として働きます。きつと寂しくなると、高知のお酒と料理を味わいに、頻繁に戻ってくると思います。見かけた際は、ぜひ声をかけてください。2年間、本当にありがとうございました。

細木病院

平成26年度採用研修医の  
2年間の初期臨床研修を終えて



プログラム責任者  
診療部長・呼吸器内科部長  
白神 実

3月18日に細木病院臨床研修管理委員会において、平成26年4月から当院で初期臨床研修をされていた安倍先生、猪狩先生、川村先生、古賀先生、古田島先生の修了認定が行われました。委員会には、堀見院長や当院の指導医のほか、外部有識者の委員として、今年から土佐市立土佐市民病院院長の田中肇先生にご協力をいただいています。

今回は、当院で初期臨床研修が始まって以来の5人という大人数の研修医を迎え、今まで以上にさまざまな問題点や改善点があり、初期研修ワークショップグループなどで色々と検討し、改善しながらの2年間でした。このたび、5人全員が無事修了できたことに感極まる限りです。

また、当院と研修医になろうとする医学生とのマッチングで、平成27年度採用は3人、平成28年度採用は4人と、各年度の当院の採用枠いっぱいでした。研修を修了された5人のうち、猪狩先生と古賀先生は当院にそのまま残って、引き続き診療に従事されます。安倍先生、川村先生、古田島先生は、新天地で新たな一歩を踏み出されますが、どの病院に行っても立派な医師に成長すると確信しています。

4月から、当院の初期臨床研修医は、2年目となる七野先生、田中先生、森本先生の3人に、新たに、赤川先生、門田先生、児玉先生、三宅先生の4人が加わります。より良い研修プログラムと研修環境を目指してこれからも努力したいと思います。

細木病院

臨床研修医紹介

細木病院では、基幹型臨床研修病院として、今年度新たに4名の臨床研修医を受け入れます。昨年度から合わせて7名の臨床研修医が当院や他の医療機関で研修を受け、医師としての人格形成や基本的な診療能力の修得を目指し、指導医の責任のもと、外来や病棟で指導医とともに診療を行います。明日の医療を担う医師育成のため、ご理解ご協力をよろしくお願ひします。

赤川芳樹

どうもお初にお目にかかります。高知大学出身の赤川芳樹と申します。4月から、何とか無事に細木病院で初期研修をさせていただきました。出身は東京都で、大学時代は水泳部に所属しておりました。

志望科については、はっきりとは決めかねていますが、現在では、精神科等に興味を持っています。いまだ医師としても人間としても未熟も未熟、右も左も分からないような殻のついたひよこですが、皆様どうぞ温かいご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひいたします。

4月より細木病院で研修をさせていただきましたことになりました。門田侑也と申します。出身は高知で、出身高校は高知学芸

高校です。大学時代はバドミントンをしていました。

ので、初期研修の2年間ではあらゆることを吸収していきたいと思っています。未熟な点が多く、皆様にご迷惑をお掛けすることがたくさんあると思いますが、精いっぱい頑張りますのでご指導よろしくお願ひいたします。

三宅健太郎

4月より細木病院で研修をさせていただきましたことになりました。高知大学出身の三宅健太郎と申します。出身は高知県です。中学、高校はテニスを、大学では空手とフットサルをやっています。

児玉佳奈

4月より初期研修をさせていただきましたことになりました。高知大学出身の児玉佳奈と申します。高知県で生まれ、埼玉県で育ち、大学入学を機にまた高知県へ戻ってまいりました。食べ物がいしく、気候も人もとてもあたたかい高知が大好きです。

将来の志望科はまだ決まっていけないので、細木病院でしっかりと研修し、自分の適性を見極めていきたいと思っています。社会人として、人として未熟な点が多く、色々とご迷惑をお掛けすると思いますが、ご指導をよろしくお願ひいたします。

門田侑也

4月より細木病院で研修をさせていただきましたことになりました。門田侑也と申します。出身は高知で、出身高校は高知学芸

将来の方向性はまだはっきりと決めていません。

将来の方向性はまだはっきりと決めていません。



左から、赤川芳樹研修医、門田侑也研修医、児玉佳奈研修医、三宅健太郎研修医



細木病院

**NPO 法人高知県生涯学習支援センターの企画  
「土佐の文化皿鉢」で講師を務めました!**

2月25日に高知市大原町の高知県教育センター分館において、NPO 法人高知県生涯学習支援センターが主催する10回連続講座「土佐の文化皿鉢」

の第9回に、『自分でできる健康チェック』と題して講演を行いました。「土佐の文化皿鉢」は、高知の伝統料理の「皿鉢」にちなんで、さまざま分野から講師を招いて、シニアが退職前も退職後も生き生きとした人生を謳歌するための講座

です。このたび、センターの高木義夫理事長から仁生会本部の細木鷹子部長に協力の依頼があり、私が講師を務めることになりました。

今回、2月の全国生活習慣病予防月間に合わせて、以下の内容について90分間お話しさせていた

できました。

1 健康とは…世界保健機関 (WHO) 憲章の紹介と平均寿命と健康寿命について高知県のデータも含めた紹介

2 生活習慣病とは…クイズを交えて生活習慣チェックをしながら生活習慣病について紹介

3 糖尿病とは…どうして糖尿病が増えたのか、また糖尿病リスクスコアを用いてご自分で

4 自分や家族の振り返り…長い人生を振り返り、家族の背景を踏まえ、健康についての振り返りをする方法

5 元気でいきいき生きるために…最近話題になっているフレイル (要介護と健康の間の状態) やサルコペニア (筋肉減少症) について紹介

参加者は、60代、70代の方を中心に112名で、皆さん熱心に話を聞いてくれていました。私も健康についてあらためて考える機会をいただき、とてもよい経験をさせていただきました。

(糖尿病看護認定看護師 片岡典代)



糖尿病とは…どうして糖尿病が増えたのか、また糖尿病リスクスコアを用いてご自分で



片岡典代

あなたとあゆむ

**積善会ニュース NO.92**

有限会社 積善会

〒780-0926 高知市大膳町 5-6 細木ビル 5F  
TEL : 088-873-0146  
FAX : 088-873-0147

《売店》

細木病院 新館地下  
088-822-7211(代)/内線1610  
三愛病院 1階  
088-845-5291(代)/内線260

**アテックス ルルドブルリング**

¥4,320 (税込)

AX-KX304pk  
**PINK**



選べるカラー  
お好みに合わせて2色から選べます。



バイブレーション付きで、リラックスタイムも「ルルドブルリング」を使って多彩なトレーニングが手軽に行えます。



カンタン操作  
ボタンひとつでバイブレーションのON/OFFができます。



軽量・コンパクトで、いつでも美トレ



ギフトパッケージ  
見ているだけで楽しくなるパッケージは、プレゼントにもぴったりです。

**ふるえるほどステキボディになろう!!**

(有)積善会がお届けするインターネットショップ! Zenショップ が新しくなりました。

**新製品も続々登場!!  
ぜひ一度ご覧ください。**



<http://store.shopping.yahoo.co.jp/zen-shop100>

**軽量・コンパクトで、いつでも美トレ!正しい姿勢を保持、ストレッチでボディを引き締めて、リラックスしましょう!**



3月5日に高知会館において、細木秀美理事長が支部長を務める日本病院会高知県支部の平成27年度総会が開かれ、続いて、高知県医師会病院部会、全日本病院協会高知県支部、日本医療法人協会高知県支部、高知県精神科病院協会、高知慢性医療協会との高知県6医療団体の共催による、平成27年度第2回講演会

が開催されました。今回は、高松市病院事業管理者で一般社団法人日本病院会常任理事の塩谷泰一先生に「地域医療はどこへ行く」と題してご講演いただきました。徳島県や香川県の公立病院の改革に取り組みられた貴重なお話は、私たち高知県の医療関係者にとっても、大変有意義で参考になりました。

## 高知県6医療団体共催 平成27年度第2回講演会開催

## ひなまつり会開催

3月3日、細木ユニティ病院6階ホールにて、ひなまつり会が開催されました。小高坂双葉園の園児たちは、「うれしいひなまつり」の一年生になったら「の歌を、作業療法室アンサンブルの皆さんも日頃の練習の成果を披露。歌によるミニコンサートでは、伸びやかな歌声で、会場の皆さんと一緒に祝いました。



## ご存じですか!? ソーシャルワーカーからのミニ情報

### 入院時の食費の負担額が変わります



平成28年4月から、入院時の食事代について、入院と在宅療養の負担の公平等を図る観点から、在宅療養でも負担をしている費用として、これまでの食費相当額に加え、新たに調理費相当額が段階的に加わります。ただし、低所得者や難病患者の方の負担額は据え置かれ、引き上げは行われません。詳しい内容等につきましては、細木病院患者サポート室または協会けんぽ、各市町村等の担当窓口までお問い合わせください。

(地域連携推進センター 患者サポート室 小笠原 望)

## 細木ユニティ病院

### 音楽療法コンサートのご案内

音楽には人の心を癒し元気づける力があります。音楽療法は、音楽の持つ力を活用しながら、心身の健康維持・増進、生活の質の向上を促進する療法です。

細木ユニティ病院では、月2回ほど、S館6階で音楽療法コンサートを開催しています。

無料で公開していますので、一般の方もお気軽にお越しください。

\*駐車場はありません。公共の交通機関をご利用ください。

### 第356回 ◆ 室内楽の魅力 ~ヴァイオリン チェロ ピアノの音色~

5月20日 (金) 午後2時~  
出演：川村陽華 (ヴァイオリン)  
マーティン・スタンツェライト (チェロ)  
杉本成美 (ピアノ)



高知市出身のヴァイオリニストの川村さんとピアニストの杉本さん、ドイツ出身で広島交響楽団の首席チェロ奏者を務めるマーティン・スタンツェライトさんの3人がクラシックの名曲をお届けします。

### ◆入院時1食あたりの負担額 (健康保険の場合)

区分	平成28年 3月31日まで	平成28年 4月1日から	平成30年 4月1日から
一般の方	260円	360円	460円
小児慢性特定疾病児童等 または指定難病患者	260円	据え置き	据え置き
低所得者Ⅱ 住民税非課税	過去1年間の入院 期間が90日以内	210円	据え置き
	過去1年間の入院 期間が90日超	160円	据え置き
低所得者Ⅰ 住民税非課税で一定所得以下	100円	据え置き	据え置き

\*低所得者の方は、減額認定証を添えて医療機関の窓口に提出してください。

